

訪問看護ステーション 連絡協議会だより

第17号

発行年月 2009年2月
 発行所 岡山県訪問看護ステーション
 連絡協議会
 〒703-8251 岡山市竹田155-7
 岡山訪問看護ステーション看護協会2階
 TEL086-901-1375・FAX086-901-1376
<http://okayama.houmonkango.net/>
 E-mail okayama@space.ocn.ne.jp
 発行責任者 若林 敏子

新年ご挨拶

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会

会長 若林 敏子

新年明けましておめでとう
ございます。

会員の皆様にはお健やかに
二〇〇九年をお迎えのことと
お慶び申し上げます。

旧年中は、会員の皆様はじめ
関係各位のご支援ご協力を賜
り協議会も無事新しい年を迎
えることが出来ました。これも
一重に皆様方のおかげと感謝
申し上げます。

昨年は「変」で象徴されるほ
ど、世界中の各分野で変化の
あった年でした。株価の暴落し
た世界経済の大変動、物価上昇
による生活の変化など、また一
方で自然災害やテロ、世界的不
況と明るい兆しは見えず不安
と恐怖にさらされた年でもあ
りました。毎年今年こそは明る
く幸せな年であることを願
います。新年を迎えますが、ま
ます世の中の荒廃を感じる
年でもありました。

さて、本年4月から介護報酬
の改定があり、介護従事者の待
遇改善等で、3%の引き上げが
ありました。今回の改正で訪問
看護では「特別管理加算の対象
に重度の褥瘡」、「複数名訪問加
算」、「長時間訪問看護加算」が新
設追加されました。このことは
訪問看護に対する評価である
と確信します。訪問看護を取り
巻く環境は厳しく、問題は山積
していますが、訪問看護が地域
にとつて在宅療養をする方々
にとつてなくてはならない
サービスとして、いつでもどこ
でも安心して受けられるよう
に、会員の皆様と共に充実発展
に向けて努めていきたいと思
います。

今年も何卒ご支援ご協力お
願い申し上げます。会員の皆様はじ
め関係各位のご健康とご活躍
を祈念して新年のごあいさつ
と致します。

新設のステーション紹介

「訪問看護ステーションはる風」

管理者 後藤 麻里

在宅の社会基盤は急速な進歩で整ってき
ましたが、まだまだ人工呼吸器使用者等に
訪問する事業所は少なく、制度のはざ間で
疲弊している家族や療養者のニーズを叶え
る支援がしたいと、訪問介護と提携して、
平成18年に訪問看護ステーションを発足さ
せました。昨今の療養状況から医療依存度
の高い在宅者は増え続け、また重度化も顕
著で、ニーズは高まるばかりですが、看護
師不足でサービスを断りせざるをえない
状況がっつらいです。
ハートと情熱のある
ナース募集中です。
一緒に頑張ってみ
たい方、気軽に声を
かけてください！



「あさがお訪問看護ステーション」

管理者 石田美智子

平成20年4月に岡山市田中に開設した、
あさがお訪問看護ステーションです。

医療・介護の政策は目まぐるしく変化し、
ますます高齢化が進む中で、医療・介護サー
ビス提供体制のあり方が問われています。
サービスを受ける高齢者のQOLの向上や
効率性を高めていくためには病院・施設か
ら在宅へサービス提供の場をシフトするこ
とが重要であるの思いから、訪問看護ス
テーションを開設しました。どうぞよろし
くお願いいたします。

ステーションからのリレーだより

「24時間対応」

訪問看護ステーション紙ふうせん 管理者 玉置君江

皆様のステーションでは24時間対応は取っていますか？

在院日数の短縮での医療依存の高い方、終末期の方の利用が多くなり、当ステーションにおいては24時間の対応利用回数は増加しています。

当然、人工呼吸器や中心静脈栄養のトラブル、痛みコントロールなどは予測できますが、精神の緊急時対応には、ほとほと困りました。

ある3人姉妹の長女さんのケースです。紙ふうせんは10年前ごろに3姉妹のお母様(当時100歳)の訪問看護をしていました。102歳、在宅にて看取りをしました。その当時、主たる介護者・キーパーソンは3姉妹の長女さんで、料理の先生という経験の持ち味を發揮し、この家のリーダーでした。しかし、介護している時に交通事故に遭ったのです。高次脳機能障害、前頭葉・側頭葉の損傷で自制が図れなくなり人格が変わりました。グリーンケアのつながりでお母様が亡くなった後も交流を

していた関係から、昨年夏から訪問看護を開始しました。育ちの良い温厚だったしっかり者の長女さんですが、せん妄が始まり、徘徊、家族に対して暴力が始まったのです。一日の中で夕方から朝方にかけてせん妄が強くなり傘の先端で攻撃をしたり、噛み付き、唾吐きなど手が付けられなくなりました。1週間の間13回の24時間対応をしました。その間、脳外科・神経内科がかかりつけ医であり、特に神経内科の先生とは24時間メール交換し、病状説明と薬の指示・指導をしてもらいました。結局内服コントロールできず、精神科への緊急入院(閉鎖病棟)になりました。

家族は不安がいっぱいですが、大好きな家に姉を連れて帰りたい・・・という思いが強く、入院中2回のテスト外泊の結果、1月9日閉鎖病棟から自宅へ退院することになりました。紙ふうせんは今後もそんな家族の思いを勿論サポートします。が、やはり・・・夕食を食べようと思った矢先に電話！入浴後電話！入眠したと思ったら電話！の24時間対応は精神的にも身体的にも重く苦しいものがあると実感します。小規模なステーションでの24時間対応を含めた勤務体制は今後の課題です。

「最高齢者への訪問」

訪問看護ステーションてまり 管理者 加賀城 津多子

私が訪問看護に携わるようになり、丸4年が経ちました。

毎日一人一人の利用者やその家族と向き合うことができる喜びと責任の重さを感じています。

その中で当ステーション最高齢104歳の利用者について述べたいと思います。

この方は80代の息子さんが主介護者で、典型的な老・老介護です。

2年前肺炎にて入院後から寝たきり状態となり、現在、訪問看護：3回/週 訪問入浴：1回/週 ヘルパー：日曜以外毎日を利用され、往診：2週に1回受けられています。主な看護内容は褥瘡処置と排便コントロールですが、訪問時「何しよんでえ」「痛い」としっかりした訴えや、自分が104歳という認識もあり時に私たちがびっくりするような会話もでき、ただただ感心するばかりです。息子さんから「どうですか？もう足が腫れとるからいけませんなあ」との言葉も聞かれますが、在宅での看取りを希望されており自分のできる範囲での介護が続けられています。私たちはそれを支えるため祝日に関係なく週3回の訪問を提供し、「来てもらえるから安心。」「助かる。」と嬉しい言葉を頂いています。

「住み慣れた家で自分らしく過ごせる喜びを提供する」をモットーに、安らかに人生の終わりを迎える日まで微力ながらも支援していきたいと思い、日々看護師として精進中です。

「利用者の声」

倉敷訪問看護サービスセンター

日々訪問看護を利用してくださっている利用者さんは、訪問看護をどのように思っているのでしょうか。アンケートから、利用者さんや御家族の声をひろってみました。

- * いつもいろいろと相談をさせていただいているのですが、毎日ていねいにまた真剣に考えてくださり、とてもありがたいと思っています。
- * 看護師の態度、言葉使いに至っては毎年お世話してくださっているのに慣れや甘えなどなく、最初の頃と全く変わらず頭の下がる思いです。看護の質、スピードも一生懸命汗を流しながらやってくれます。
- * いつもは話をしないのですが、訪問していただく笑顔でよくおしゃべりします。楽しそうでも助かります。
- * 困った事がある時は親切に対応してくださっていつも感謝しております。母が長生きできていますのも、皆様のおかげです。

皆様から多くのお褒めの言葉をいただき、看護師として励みになると同時に期待の大きさを感じました。

これからも利用者さんや御家族の気持ちにそった、より良いサービスを提供できるよう努力していきたいと思っています。

「信頼関係をつくるコミュニケーションとは ～医療現場でコーチングを活かす～」に参加して

アスカ訪問看護ステーション
管理者 平井淑子

平成20年9月6日、きらめきプラザに有限会社SKYWARD 代表取締役の寺崎光宣氏をお招きして講演と演習をしていただきました。コーチングとは、相手が自分で考え行動するための支援であり、相手が望む状態を実現するための対話です。相手が正直に話しやすい関係をつくり、効果的な質問や聴き方をすることにより、相手自身に気づきや行動を生み出すことができるそうで、利用者が望む生活ができるよう支援する訪問看護と通じるものがあると感じました。共通点があると親密になれることや、自分がされて嬉しい対応をそのまま相手にしても喜ばれるとは限らないこと、信頼関係をつくるために必要なのは相手を認めることで、信頼関係ができればスムーズな対応ができるというコミュニケーションの基本を学ぶことができました。



「感染対策について」～手指衛生～

グッドライフ指定訪問看護ステーション
管理者 橋本香代子

平成20年12月3日きらめきプラザにてサラヤ株式会社衛生インストラクター栄養士の牟田口静枝氏をお招きして、講演と演習をしていただきました。手指衛生という基本的な知識を分かりやすく、明確にご指導いただき、原点に戻って学ぶことができました。



先生の声・話すタイミング・トーンが心地よく心の中に入り、よりわかりやすかったと思います。確認、振り返りが出来、今後のケアの自信につながります。展示会の方も物品の詳しい説明をしていただきました。

今日の学びを日々のケアに生かしていきたいと思います。



『日常生活援助技術Ⅱ』に参加して

倉敷しげい訪問看護ステーション
看護師 餘語真佐子



平成20年8月22日に岡山医療センター附属岡山看護学校実習室にて、久留米大学看護学科教授の野村志保子先生より、エビデンスに基づく看護技術の講義・実技を学びました。先生より、利用者に向

地良い日常生活援助技術を提供する為には何が大切なのでしょうかと言われ、①自然な動きを活用すること・ボディメカニクスの原理を活用すること・身体の比重を考慮すること②身体の清潔の援助を行うことなどを考えなければならないと教わりました。また、看護者の“手”は利用者の身体と心にどのように伝わるか、基本と根拠を学びながら、現在困っている技術についても指導して頂きました。参加メンバーとも情報交換を行いながら研修を受けることが出来、大変刺激になりました。『看護者が行う看護技術は、利用者を身体的にも精神的にも回復させる力を持っている。医師では出来ない部分になっている』とも先生より教わりました。今後も利用者の安全・安楽な看護を行い、少しでも在宅療養を行う上での手助けができたらと思います。看護技術は奥が深く、スキルアップのためにも今後も努力していこうと思います。

平成21年度年間研修計画(案)

日程	テーマ	ねらい	場所
7月	生活機能を維持するためのフィジカルアセスメント	廃用症候群を予防し、生活機能を維持するためのフィジカルアセスメントを学ぶ	岡山
8月	訪問看護における看護倫理	看護倫理を学ぶ	倉敷
9月	信頼関係をつくるコミュニケーションⅡ ～訪問看護でコーチングを活かす～	よりよいコミュニケーション技術を身につけ人間関係を深め訪問看護に役立てる	倉敷
10月	認知症のひとの看護 ～レビー小体を中心に～	認知症について理解を深め、看護を再考する	津山
11月	浮腫療法	リンパマッサージを学び看護ケアにいかす	岡山
12月	呼吸管理	人工呼吸器の管理と呼吸リハビリテーションを学ぶ	岡山

※講師・会場は交渉中です。
※都合により、日程・内容等変更がある場合がございますのでご容赦ください。

※研修は、研修会の際のアンケートを参考に、私たち研修委員が集まり委員会にて計画立案させていただきました。



平成20年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金『新卒看護師等の訪問看護ステーション受け入れおよび定着化に関する調査研究』の検討委員として岡山システム班結成のお知らせ

岡山大学保健学研究科コミュニティヘルス看護学領域
在宅看護学 教授 長江 弘子

このたび、岡山県訪問看護ステーション連絡協議会のご協力を受けて、岡山県内における新たな教育システムを検討する調査研究班を立ち上げることとなりました。この研究事業は、昨今の医療制度改革において在宅看護の質的向上と訪問看護の役割の拡大と強化が期待されている社会背景により要請されました。これからの訪問看護師には、重症のがん患者や高齢者のターミナルケア、精神障害者や小児・障害者の在宅療養および社会復帰を支える支援者としての役割が期待されています。そのため地域の様々な職種と連携することや他機関とのつながりをより一層強くし、患者・家族を中心とした切れ目のない医療体制を構築する役割があります。それは訪問看護師が医療専門職であり地域の資源として住民の健康のために活動する存在だからです。

しかし、現状は厳しくそれらのニーズに応えるべく看護師の安定的確保・供給、訪問看護事業の適正運営を講じることが社会的責任として緊急の課題でありながら、個々のステーションでは限界があります。そこで、本研究事業の岡山システム班では、岡山県庁の施設指導課、岡山県看護協会、岡山大学病院などが協力し合って検討します。地域に必要とされている健康支援ニーズに対応できる看護師の実践能力の向上と人材確保をどのようにシステム化すればよいか、将来の見通しをもった恒常的で実現可能な新たな人材育成の在り方を検討します。

こうした取り組みは地域の組織的な協力なくしてはできません。快くご協力いただいた会長及び会員の皆様のご協力に感謝し、ともに考え、何らかの解決策を模索し、全国の看護師が元気になる教育の在り方として提言できれば幸いと思っております。

編集後記

新年を迎え急に冷えこみが激しくなってきました。皆様お変わりなく訪問看護にいらして下さる事と思います。

利用者様の体調の変化が著しい時期で日々お忙しいとは思いますが、どうぞ今年も1年体に気をつけて多くの笑顔がみられるように頑張ってください。

広報委員一同



お願い

訪問看護師養成講習会を受講してステーションで就業している看護職者が(看護協会の調査によると)44%、未受講の看護職者が55%であり、受講者が年々減少傾向にあるので、現在未受講の方はぜひ受講していただきますようお願い致します。

平成21年度の養成講習会につきましては、岡山県看護協会より2月中旬に各ステーション宛にご案内があります。是非ご検討下さい。

事務局より

昨年中は、大変お世話になりました。

日々の業務大変お忙しい中、色々ご協力いただきまして本当にありがとうございます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

研修会や、地区活動、広報誌等、協議会活動についてのご意見ご感想をお寄せ下さい。お気軽にメール・FAXにてお送り下さい。お待ちしております。

e-mail: okayama@space.ocn.ne.jp

FAX: 086-901-1375